

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 5月

2023.5

0. はじめに

2023年もあっという間に5月が終わろうとしており、もう少しで半年が過ぎようとしております。生徒達も新学年に進級し、新たなクラス・新たな授業にようやく慣れてきたところですが、昨今は、めまぐるしく変化する社会や入試制度に翻弄されがちになっておりますので、入試情報については、最新の情報を確認していただきながら、お子様の将来について家族で話し合う時間を持っていただきたいと思います。

この「進学Now!」が少しでもお役に立てば幸いです。奇数月に発行（ホームページに掲載）いたしますので、ぜひご覧ください。

1. 令和4年度卒業生（令和5年3月卒）の進路状況について

この春に卒業した3年生は、昨年度の卒業生同様に、様々な困難に見舞われ、不安の多い日々を過ごした学年でした。3度目の「共通テスト」において理科で得点調整が行われたり、コロナ禍により休業期間が3ヶ月に及び、入学直後にもかかわらず授業を受けられない不安な毎日を過ごしました。さらに楽しみにしていた修学旅行が延期の上、東北方面に変更となるなど、通常の活動や学校行事が大幅に制限された学年だったと思われま

す。しかし、そのような環境下でも本校生はたゆまぬ努力を続け、大きな成果を残しました。**現役の国公立大学合格者数が155名を数えた**のは、石橋高校開学以来初の快挙であり、私立大学合格者数も昨年の709名に次ぐ、667名（現役のみ）を出しました。また、本校の目指す国立難関大学受験者も、目標とされてきた50人を2年連続で超え、多くの合格者を出すことができました。**詳細は全生徒に配布される「湧泉の記」をご覧ください。**

何よりも嬉しいことは、高校入学以来3年間、国公立大学志望者が9割以上を占める本校において、6割超が国公立大学合格を達成し、さらにその9割以上が合格大学に進学（4年連続）していることです。すなわち、行きたい大学を最後まで粘り強く受験し、合格を勝ち取り、目標を達成した生徒が4年連続で9割を超えたことは、本校の指導が生徒の希望を叶える方向でうまく機能していることを示す結果だと感じております。この結果は、言うまでも無く保護者の皆様が本校の進路指導をご理解くださり、お子様を最後までご支援くださった結果であると思

います。皆様のご理解・ご協力と生徒達の粘り強い努力に、心より感謝申し上げます。本校で指導してきて感じることは、本校生の持つ潜在能力は本当に素晴らしいということです。その能力を開花させるためには、途中で安易な選択に流れず、最後の最後まで努力する姿勢を維持することができたかどうかにかかっていると強く感じます。そして、その姿勢を助けるのが、**同じ目標に向かって頑張る素晴らしい仲間達の存在**です。学年のまとまりと元気・勇気が石高生の支えとなっています。メンタル面の弱い生徒も増えてきていますので、保護者の皆様の助言と励ましを最後までいただきますよう、よろしくご

2. 3年生のこの時期

冒頭でも述べましたが、すでに5月が過ぎ、6月に向かっております。もうすぐ2023年の後半戦に入ってまいります。つい先日（5月末）に進研マーク模試（6月マーク模試）が行われましたが、この模試は、これまでの模擬テストとは意味合いが大きく異なります。

①3年生初のマーク模試であること②この試験結果と本番の共通テストの結果には強い相関関係が見られること③結果が1学期中に返却され夏休みの目標のデータとなること、の3点です。

①については、共通テストと同様の形式に慣れ、失敗しない方法を身につけるとい

点では重要ですので、各自で今後に生かして欲しいと思

います。②については、およそ78%の相関関係があり、6月マークの点数+100点を大学合格のボーダーラインと照合し、受験する大学を絞り込む際の重要なデータとなります。もちろんこの結果がすべてでは無く、例外的に急成長したり、逆に伸びを欠くケースもあり得ますが、データとしての重要性は大きいと言えます。③については、半年を過ぎ次第に緊張感と焦りが出てくる時期ですが、部活動参加率の高い本校生は、夏休

3. 2年生のこの時期

文理の選択に基づいてクラス替えが行われ、ようやく新クラスに馴染んできた頃かと思

います。部活動でも中心的な役割を担い、責任ある行動が問われる機会が増えてきていること

でしょう。進路について、**2年生に考えて欲しいことは**①学部・学科を理解する、そして②テーマ研究を積極的に行う、ことです。本校では2年生で「夢・描写プログラム」を実施してきました。この学校行事は、学校が定めたプログラムに縛られるのではなく、各自の目標や興味関心に合わせて、「夢を描いていく」ものであり、具体的には**大学や研究施設を各自の計画で訪問し、大学進学に関する詳細な情報を得て、進路検討の材料とする**ことですので、主体的な取り組みが求められます。大学のオープンキャンパスや研究講座も対面式で復活してきていますので、今年度は大きくチャンスが広がっています。保護者の皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。②については、各自がテーマを決め、先生方に指導していただく段階に入りました。中学時代のように、単純に知りたいことを調べるのではなく、物事の本質に迫る「研究」に取り組んで欲しいと思

4. 1年生のこの時期

入学直後から、忙しい日々を送っていることと思

います。また、高校生の生活に戸惑い、悩みも出てきているかもしれません。しかし、全国の高校生も同様の経験をしているはず

です。悩むことも自分を成長させる一助と捉え、全力で取り組んで欲しいと思

います。また、担任をはじめ、部活動の顧問などにも相談してみてください。

先日**初めての中間テストが終わり**、一息入れているところでしょうか。本校生の誰もが優秀な成績で中学時代を過ごしたと思

いますが、その生徒達が挑む「大学受験に向けた」難易度の問題が出題され、大きく戸惑う生徒も出てくるかと思

います。そんな時は遠慮せず、クラス担任や教科担当の先生に相談するよう指導して

おります。保護者の皆様も、お子様の様子にご注意くださいますようお願い申し上げます。友人との楽しい時間や部活動の充実した時間も高校の醍醐味ですが、進学を目指す本校生にとっては、安定した勉強が必須要件です。学習に重点を置いた日常生活をご指導くださいますようお願い申し上げます。

保護者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。また、ご不明な点や疑問点などございましたら、遠慮なくご相談ください。

進路指導部